

県大会組合せ決定!! 初戦の対戦相手は 浪岡FA

創部27年目、優勝2回の名門 千成倶楽部は、第29回東奥日報社杯争奪青森県熟年野球大会に15年連続(通算18回目)で出場します。

このたび組合せが決定し、千成倶楽部の対戦相手は、東青地区の浪岡FA(8月26日(土)三沢市民の森球場(12:30試合開始))と決定しました。(別紙の組合せ表のとおり)

対戦相手の浪岡FAは、千成倶楽部としては初顔合わせとなります。40歳・50歳代を中心としたチームで、毎年県大会に出場しており、平成30年度、令和2年度の選抜大会ではベスト8に進出するなど、県大会常連の好チームです。

千成倶楽部は、年々平均年齢は上昇していますが、平成29・30年度の県大会では、各2勝をあげるなど、実績は十分です。今年度の県大会もコンディションを整えて臨みましょう!

県大会まで、および今後の日程は次のとおりです。

また、リーグ戦も現在のところ3勝3敗で、終盤戦で今シーズンの勝ち越しをめざします!!

8月20日(日) 8:30~10:30 リーグ戦: 永球会Ⅱ戦(平内中(旧平内高校)球場)

8月26日(土) 12:30試合開始 浪岡FA戦(三沢市民の森球場) 11:00集合

9月10日(日) 10:30~12:30リーグ戦: CRUSH戦(旧浅虫中グラウンド)

◎令和5年度リーグ戦速報

☆7月2日(第5戦 3勝2敗) あおしん球場

平内 BB クラブ	0	0	0	0	2	0	0	2	須藤、長畠一伝法谷、川村
千成倶楽部	0	0	0	0	0	0	3×	3	鷲尾、嶋貴一濱田

・二塁打: 塩崎(平)

最終回に粘って逆転サヨナラ勝ち! 代打石坂 殊勳の選球!!

両チームともに無得点で進んだ試合は5回に動いた。5回表の平内は、千成の先発鷲尾を攻めて、先頭の7番千代谷の中前安打と送りバントから2連打で2点を先制した。

千成は、平内の先発須藤、4回からは2番手長畠を攻略できず、2回裏の4番中嶋、5番嶋の連打、6回裏の2つの四球も走塁ミスがあり、無得点のまま最終回を迎えた。

7回裏の千成は、先頭の2番木村が右中間安打で反撃を開始、3番嶋貴が四球で続き、4番の代打ベテラン鳴海の進塁打で一死二三塁として5番嶋の内野安打で1点、6番斎藤も内野安打で続き一死満塁として、7番濱田が8球目まで粘って四球を選び押し出しで同点とした。

さらに8番特別打者の代走に入っていた五戸の代打で登場した石坂が6球目まで粘って押し出し四球をもぎ取り、劇的なサヨナラ勝ちを呼び込んだ。

千成は、先発鷲尾一リリーフ嶋貴の必勝リレーで平内の追加点を防ぐ一方、2回表にはレフト嶋貴の好守備、5嶋-4木村-3山谷のダブルプレーを決めるなどで8安打を放った平内の追撃を断った。

▲6月4日（第3戦 2勝1敗）外ヶ浜球場

千成倶楽部	0	0	0	0	1	0	0	1	鷺尾一濱田
キングス40	1	3	0	0	4	1	×	9	越田、坂本一横内

・三塁打：須藤（キ） 二塁打：木村（千） 山口、坂本、一戸（キ）

キングスに投打で圧倒され3連勝ならず…

千成は欠場者が多い中での試合となった。キングスは1回裏に2安打で1点を先制すると、2回裏には2本の二塁打など4安打を集中して3点を追加して主導権を握った。

千成は5回表に1番木村が相手失策で出塁すると、3番嶋貴、4番中嶋の連打で1点を返した。

キングスは5回裏に3連打と失策で4点、6回裏にも二塁打と失策で1点を追加して試合を決めた。

千成は、ベテラン鳴海がフル出場、五戸、工藤俊も途中出場した。内野手登録の石坂は9番センターで先発メンバーとして登場、3回裏にはセンターライナーを好捕したが、6回裏の守備で惜しくも負傷退場となった。このため、ベンチの最後の選手として石岡監督が出場し、7回表の攻撃では打席に登場してレフト前に安打を放って健在ぶりをアピールした。

千成先発の鷺尾は105球で完投した。レフト嶋貴は、再三の好捕でチームを鼓舞した。

▲6月18日（第4戦 2勝2敗）スポーツ広場第1球場

千成倶楽部	0	0	0	1	0	1	0	2	嶋貴、嶋一濱田
ポン友クラブB	0	1	0	2	2	0	×	5	古館、吉川、橋本一今井、大高、村上

・本塁打：山谷（ボ） 三塁打：稻葉（ボ） 二塁打：中嶋（千） 佐々木、稻葉（ボ）

ポン友クラブの長打攻勢に屈する…

2回裏のポン友は、4番山谷の安打と5番稻葉の三塁打で先制した。千成は4回表に3番嶋貴の四球から4番中嶋の左越二塁打で同点とし、5番嶋の左前安打で生還を図るも惜しくも寸前で憤死し勝ち越しはならなかった。ポン友は4回裏に4番山谷の本塁打などで2点を勝ち越すと、5回裏にも3番佐々木の二塁打などで1点を追加した。

追う千成は6回表に2番中村の中前安打、4番中嶋の内野安打などで1点を追加して追撃したが及ばなかった。この試合で4番中嶋が3打数3安打（二塁打1）と奮闘した。

▲7月23日（第6戦 3勝3敗）あおしん球場

ユニオン青森	2	0	1	0	1	0	0	4	佐治、佐々木智一佐々木大
千成倶楽部	1	0	0	0	0	0	0	1	鷺尾、嶋貴一濱田

・本塁打：佐治（ユ） 三塁打：山宮（千） 二塁打：蛇名（ユ）

鷺尾一嶋貴の必勝リレー及ばず 隨所に好守備 80分の好試合

1回表のユニオンは4番佐治の2点本塁打で先制した。その裏千成は、二死から3番嶋貴が四球で出塁すると4番山宮が鮮やかな右中間三塁打を放ってすかさず追撃した。

3回表のユニオンは3連打で1点を追加し、なおも一死二三塁から5番横江が中飛を放ったが、千成のセンター嶋貴が本塁ヘワンバウンドの好返球で三塁走者の生還を阻止した。

5回表にもユニオンは四球と三連打で1点を追加して試合を有利に進めた。

千成も1番柳谷、4番山宮がそれぞれ2安打、久々出場の5番菊池も7回にセンターオーバーの鋭い打球を放つなど反撃を試みるも、微妙な判定の2併殺を喫するなどで、鷺尾一嶋貴の必勝リレー、後攻を選択の必勝パターンも及ばなかった。

両チームともに無失策で試合時間80分の引き締まった好試合であった。